

ひしのみ

【学校目標】

たくましく かしこく ともに生きる

「ほめほめ活動」開始

「一人一人に光を当て、全校児童 220 人が輝くようにしたい。」これが今年度の千代田中部小学校の全職員の思いです。そのために、一人一人を「認め、ほめ、励ます」活動をどんどん行っていきます。

ほめることで、自分に自信を持ち意欲的に活動する人になってもらいたい、という願いを込めての取り組みです。

自分に自信が持てれば、自己肯定感が高まり、自分を大切に、自分の命を大切に人になってくれるはず。また、自分が認められれば、自分が人のためになっているという自己有用感が生まれます。この自己有用感は周りの人への優しさにもつながっていきます。「ほめられて気持ちのよくない人はいない。」と、元アメリカ大統領のリンカーンも言っていました。やっぱり、人はほめられたいのです。認められたいのです。これは大人になっても同じです。お母さん、お父さん方も思い当たるところがあられるのではないのでしょうか。(もちろん私も、しかられるより、ほめられたい。と思っています。)

学校では、毎日の給食時間に「ほめほめタイム」を設定し、全校放送で名前を紹介し、どんなところがすばらしいのか具体的にほめるようにしております。ほめる観点は、

「逞」(たくましい子)・・・安心安全に気をつけ、健康な生活を送ろうとしている子

「賢」(かしこい子)・・・今何をすべきか考えている子 今やるべきことを一生懸命している子

「共生」(ともに生きる子)・・・周りの人を思いやった行動をしている子

です。目標は「1年間で全校児童を少なくとも2回以上ほめる」です。(4月17日現在62人)

ほめた子に渡すミニ賞状を作り、職員室前に掲示しています(下写真)。学校にお越しの際はぜひ見てください。掲示板がいっぱいになったらその賞状は家庭に持って帰ってもらいます。このミニ賞状を持って帰ってきたときには、ご家庭でもたくさんほめてあげてください。学校でほめる。家庭でほめる。地域でほめる。ご協力よろしくお願いたします。

